

偽れる盛装 (1951)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1951/01/13

公開情報 大映

【解説】

松竹を飛び出した吉村公三郎と新藤兼人が大映で製作した、京都の花街をリアルに描いたドラマ。新藤は恩師である溝口健二の「祇園の姉妹」に対するオマージュとして、このシナリオを書いたという。京都市観光課に勤める妙子には、宮川町で芸者をしている君蝶という姉がいた。君蝶はやはり芸者だった母への反発から、男たちから金を巻き上げていた。妙子は祇園で有名な菊亭の一人息子の孝次と恋仲だったが、彼の母親から身分が違くと結婚を許してもらえずにいた。東京から来た妙子の親友は、二人で東京へ逃げてしまえば良いとアドバイスするが、孝次には家を出る自信がなかった。

【クレジット】

監督 吉村公三郎

製作 亀田耕司

脚本 新藤兼人

撮影 中井朝一

美術 水谷浩

音楽 伊福部昭

出演	京マチ子	君蝶
	藤田泰子	妙子
	小林桂樹	孝次
	柳恵美子	福彌
	北河内妙子	雪子
	滝花久子	きく
	村田知栄子	千代
	牧千草	とんぼ
	橘公子	友香
	菅井一郎	山下
	進藤英太郎	伊勢浜
	殿山泰司	笠間
	河津清三郎	渡辺
	藤代鮎子	せつ
	常盤操子	おとき
	三好栄子	藤尾
	南部章三	北川博士
	石原須磨男	あんま